

基準3 教員及び教育支援者

(1) 観点ごとの分析

観点3-1-①： 教育の目的を達成するために必要な一般科目担当教員が適切に配置されているか。

(観点に係る状況)

本校は、1学年4学級(1学科1学級)の入学定員が160人で、一般科目担当教員として、専任22人、非常勤講師17人を配置し、高等専門学校設置基準を満たしている(資料3-1-①-1~2)。

一般科目は、本校の基本教育目標及び学習・教育目標に沿って、豊かな人間性を持った創造力に富んだ実践的技術者を養成するために、総合科学科所属の教員を適切に配置している(資料1-1-①-3~5, 7参照)。また、非常勤講師についても、教育課程を遂行するために、適任の教員を配置している。

観点3-1-① 資料一覧

資料3-1-①-1 一般科目教員配置状況

(出典：総務課資料)

資料3-1-①-2 一般科目担当教員一覧

(出典：総務課資料)

資料3-1-①-1

一般科目教員配置状況

平成19年4月1日現在

区 分		教 授	特任教授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
一 般 科 目	人文・社会	国 語	1		1			2
		歴 史			1			1
		地 理	1					1
		法学・経済学	1					1
	自然	数 学	2		1	1		4
		物 理	1		1			2
		化 学	1					1
	保健・体育			3				3
	外国語	英 語		1	3			4
		ドイ ツ 語			1			1
	応 用 数 学			1				1
	応 用 物 理	1						1
合 計		8	1	12	1	0	0	22

(出典：総務課資料)

資料3-1-①-2

一般科目担当教員一覧

専任教員

氏名	職名	担当科目	専門分野
山内 清	教授	倫理(1年), 政治・経済(3年), 倫理と法(5年共通)	経済理論
澤 祥	教授	地理(1年), 歴史Ⅰ(2年), 日本事情(留学生), 地理学(5年共通)	自然地理学
山田 充昭	准教授	地理(1年), 歴史Ⅰ(2年), 国際政治(5年共通), 日本事情(留学生)	日本史学
佐藤 修一	教授	数学Ⅰ(1年), 数学Ⅱ(1年, 3年)	数学
佐藤 浩	教授	数学Ⅰ(1年, 2年, 3年)	代数学、離散数学、組合せ論、確率論
野々村 和晃	准教授	数学Ⅰ(1年, 2年), 数学Ⅱ(2年, 3年)	代数学
鈴木 有祐	講師	数学Ⅰ(2年, 3年), 応用数学(5E, 5I)	位相幾何学的グラフ理論
岡崎 幹郎	教授	物理(3年), 応用物理(3M, 4M, 3E, 4E, 3I, 3B), 数理科学(5年共通)	宇宙物理学、プラズマ物理学、物理教育、高専教育
金網 秀典	教授	化学(1年, 2年)	有機化学、有機電気化学、化学教育
小野寺 敦	准教授	保健・体育(3年, 4年)	保健体育、陸上競技
伊藤 堅治	准教授	保健・体育(1年, 2年, 3年)	保健体育、柔道
本間 浩二	准教授	保健・体育(1年, 2年)	保健体育、ラグビーフットボール
大河内 邦子	教授	国語(1年, 2年)	国文学、国語教育研究、日本芸能史
加田 謙一郎	准教授	国語(2年, 3年)	国文学、国語コミュニケーションスキル教育
児玉 清志	特任教授	英語Ⅰ(2年, 3年), 英語Ⅱ(2年), 語学演習(5年)	シェイクスピアとエリザベス朝文学
畑江 美佳	准教授	英語Ⅱ(1年), 語学演習(5年), 英語表現法(5年共通)	英語教育、融合文化論
田辺 英一郎	准教授	英語Ⅰ(4年), 英語Ⅱ(3年), 語学演習(5年)	言語学、英語教育学
阿部 秀樹	准教授	英語Ⅰ(1年, 2年), 英語Ⅱ(2年), 語学演習(5年)	英語音声学・音韻論、第二言語音韻論、応用言語学
窪田 眞治	准教授	英語Ⅱ(2年), ドイツ語(4年, 5年)	ドイツ文学
上松 和弘	准教授	数学Ⅰ(1年, 2年), 応用数学(5M, 4B)	数学、応用数学、物理数学、金属属性
鈴木 建二	教授	物理(3年), 応用物理(3I, 4I, 3B, 4B), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	固体物理学、物理教育
吉木 宏之	准教授	物理(2年, 3年), 応用物理(3M, 3E, 4E, 3I, 3B), 卒業研究(5E)	プラズマ理工学、気体放電、原子核理論

非常勤教員

氏名	所属	担当科目	専門分野
佐藤 成昭	██████████	倫理(1年)	倫理学
井上 孝一	██████████	応用数学(4年)	微分方程式
日詰 征郎	██████████	歴史Ⅱ(3年), 政治・経済(3年)	世界史

資料3-1-①-2 続き

氏名	所属	担当科目	専門分野
齋藤 進		数学Ⅱ(1年, 2年)	微分幾何学
渡部 眞二		物理(2年)	プラズマ物理学
相馬 紘夫		生物(2年)	生物学
阿部 達也		化学(2M, 2E, 2I)	化学
武田 弘昭		保健・体育(5年)	体操, 保健体育学, 運動生理学
伴 和香子		音楽(1年)	音楽
江川 満		美術(2年)	陶芸
江川 てる子		美術(2年)	絵画
有地 智枝子		国語(2年)	国語教育学
佐藤 晃		英語Ⅰ(2年), 工業英語(5I), 日本語Ⅰ(留学生)	英語教育
本間 義夫		工業英語(5M, 5E, 4I), 日本語Ⅱ(留学生)	英語教育
原 京子		英語Ⅰ(2年), 英語Ⅱ(2年, 3年)	英語教育
Mark Stewart		英語Ⅰ(1年, 2年)	英語教育
Adrian D.Paterson		英語Ⅰ(2年)	英語教育

(出典：総務課資料)

(分析結果とその根拠理由)

本校は、1学年4学級(1学科1学級)の入学定員が160人で、一般科目担当教員として、専任22人、非常勤講師17人を配置し、高等専門学校設置基準を満たしている。一般科目は、本校の基本教育目標及び学習・教育目標に沿って、豊かな人間性を持った創造力に富んだ実践的技術者を養成するために、総合科学科所属の教員を適切に配置している。

観点3-1-②： 教育の目的を達成するために必要な各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。

(観点到に係る状況)

本校は、1学年4学級(1学科1学級)で構成され、専門科目担当教員として、専任41人、非常勤講師25人を配置し、高等専門学校設置基準を満たしている(資料3-1-②-1)。

専門科目は、本校の基本教育目標及び学習・教育目標に沿って、工業界の様々な分野で活躍できる教養豊かな実践的技術者を養成するために、4つの専門学科に専門科目の教員を適切に配置している。また、これらを担当する教員は非常勤講師を含め、各担当分野で高い専門性を有し、かつ各専門分野

での研究活動を行っている（資料3-1-②-2～5）。

観点3-1-② 資料

資料3-1-②-1	専門科目教員配置状況	(出典：総務課資料)
資料3-1-②-2	機械工学科担当教員一覧	(出典：総務課資料)
資料3-1-②-3	電気電子工学科担当教員一覧	(出典：総務課資料)
資料3-1-②-4	制御情報工学科担当教員一覧	(出典：総務課資料)
資料3-1-②-5	物質工学科担当教員一覧	(出典：総務課資料)

資料3-1-②-1

専門科目教員配置状況

平成19年4月1日現在

区 分		教 授	特任教授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
専 門 科 目	機 械 工 学 科	5		3		2		10
	電 気 電 子 工 学 科	3		3		2		8
	制 御 情 報 工 学 科	4	1	5		1		11
	物 質 工 学 科	6		4		2		12
合 計		18	1	15	0	7	0	41

(出典：総務課資料)

資料 3 - 1 - ② - 2

機械工学科担当教員一覧

専任教員

氏名	職名	担当科目	専門分野
丹 省一	教授	水力学(4I), 制御情報工学実験・実習(3I, 5I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I), 環境工学(5年共通)	流体工学、流体機械
加藤 康志郎	教授	創造実習(2M), 材料学 I (3M), 機構学(4M), 機械工学実習(3M), 機械工学実験(4M), 機械運動学(4I), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	トライボロジー、機械要素
嶋屋 誠	教授	材料力学(4M), 機械要素設計(4M), 機械工学実験(4M), 機械設計製図(5M), マイコン制御(4M), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	材料力学
白野 啓一	教授	工業力学(3M), 水力学(4M), 水力学演習(4M), エネルギー変換工学(5年共通), 機械工学実習(3M), 機械工学実験(4M, 5M), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	流体工学
後藤 誠	教授	機械工作法 I (3M, 4M), 機械工作法 II (5M), 機械設計製図(4M), 機械工学実験(4M), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	機械工作法(鋳造)
本橋 元	准教授	機械力学(4M), 機械設計製図(3M), 機械工学実習(3M), 機械工学実験(5M), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	機械工学
五十嵐 幸徳	准教授	材料学 II (4M), 機械設計製図(1M, 2M), 機械工学実習(1M, 2M), CAD(2M), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	材料工学、金属材料学
増山 知也	准教授	材料力学(3M), メカトロニクス(5M), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	機械要素、設計工学、材料工学、破壊力学
佐々木 裕之	助教	(内地研究)	ロボット工学
矢吹 益久	助教	熱力学(4M), 熱力学演習(4M), 機械工学実験(5M), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	希薄気体工学、真空工学

非常勤教員

氏名	所属	担当科目	専門分野
斉藤 攻悦	██████████	機械工学実験(5M)	熱工学
富士 正幸	██████████	電気基礎(2M, 3M)	電気機器

(出典：総務課資料)

資料3-1-②-3

電気電子工学科担当教員一覧

専任教員

氏名	職名	担当科目	専門分野
佐藤 秀昭	教授	電気電子基礎(1E), 創造実習(1E), 電気回路(2E, 3E), 電気工学実験・実習(4E), 送配電工学(5E), 電気応用(5E), 卒業研究(5E)	電気応用、光応用科学
藤本 幸一	教授	交流理論(4E), 交流理論演習(4E), 自動制御(5E), デジタル制御システム(5年共通), 電気工学実験・実習(4E), 卒業研究(5E)	自動制御
江口 宇三郎	教授	電気磁気学(2E), 電気電子計測(3E), 電子計測(4E), 光応用工学(5E), 電気工学実験・実習(5E), 卒業研究(5E)	応用物理
佐藤 淳	准教授	創造実習(1E), 電子デバイス(4E), デジタル回路(5E), マイクロコンピュータⅠ・Ⅱ(5E), 電気工学実験・実習(5E), 卒業研究(5E)	計算機工学
神田 和也	准教授	電子回路(4M, 4E), 電子回路演習(4E), 信号処理(5E), 電気電子工学実験・実習(3E), 電気工学ゼミ(4E), 卒業研究(5E)	センサ工学、電子回路論、食品工学
保科 紳一郎	准教授	プログラム演習(2E), 電気磁気学(3E), 電気通信(4E), 電気電子工学実験・実習(2E), 卒業研究(5E)	電気磁気学、電気計測
武市 義弘	助教	創造実習(1E, 3E), 情報処理, 情報通信(4E), 電気工学実験・実習(4E, 5E), 卒業研究(5E), デジタル信号処理(5年共通)	デジタル信号処理
宝賀 剛	助教	基礎コンピュータ演習(1E), 電気機器(4E), 電気設計(5E), 電気電子工学実験・実習(3E), 電気工学実験・演習(4E), 卒業研究(5E)	電気材料

非常勤教員

氏名	所属	担当科目	専門分野
斉藤 攻悦	██████████	機械工学概論(5E)	熱工学
菊地 恒夫	██████████	電気法規及び電気施設管理(5E)	電力工学、電気法規
中村 憲介	██████████	電子工学(3E)	電子工学
土田 重征	██████████	放電現象(4E), 電気材料(4E), 高電圧工学(4E), 発変電工学(5E)	電気材料、発変電工学
福士 正幸	██████████	電気機器Ⅰ(3E), 電子計算機(4E)	電気機器
田邊 光夫	██████████	電気電子製図(1E)	機械工作

(出典：総務課資料)

資料3-1-②-4

制御情報工学科担当教員一覧

専任教員

氏名	職名	担当科目	専門分野
渡邊 隆之	特任教授	創造実習, マイクロコンピュータ(3I), 数値解析(4I), 制御情報工学実験・実習(4I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I)	構造工学
大久保 準一郎	教授	ハードウェア概論(2I), ソフトウェア工学(3I), 機械・電気製図(3I), 情報処理演習(4I), 制御情報工学実験・実習(2I, 5I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I)	数値計算力学、ソフトウェア一般
宮崎 孝雄	教授	創造実習(2I), 論理回路(4I), 電子デバイス工学(4I), 計測工学(5I), 制御情報工学実験・実習(3I, 4I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I)	計測工学
佐藤 義重	教授	材料力学(3I), ロボット工学(5I), 計測・制御工学(5M), 制御情報工学実験・実習(3I, 4I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I)	知能制御システム、システム制御
柳本 憲作	教授	制御工学Ⅰ(4I), 制御工学Ⅱ(5I), システム制御(5I), 制御情報工学実験・実習(5I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I), 騒音制御工学(5年共通)	音響工学、制御工学
吉住 圭市	准教授	プログラミング言語(1I, 2I), データ構造(4I), 情報ネットワーク(5I), プログラミング演習(3I), 制御情報工学実験・実習(4I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I), シミュレーション工学	情報科学、情報処理教育、Web技術、画像処理
竹村 学	准教授	情報処理(1M, 2M, 3M), 数値解析(5M), 機械工学実験(4M, 5M), 機械工学ゼミ(4M), 卒業研究(5M)	システム情報工学
安斎 弘樹	准教授	電気工学(3I), 電気工学演習(4I), 制御情報工学実験・実習(2I, 5I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I)	環境電磁工学、計算電磁気学
三村 泰成	准教授	情報処理(4M, 5E), アルゴリズム入門(4I), 熱力学(5I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I)	計算力学
渡部 誠二	准教授	電子回路(4I), 信号処理(5I), 制御情報工学実験・実習(2I, 3I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I)	騒音制御
西山 勝彦	助教	コンピュータ入門(1I), CG入門(1I), 創造工学ゼミ(4I), 卒業研究(5I)	ナノ・バイオシミュレーション

非常勤教員

氏名	所属	担当科目	専門分野
斉藤 攻悦	■■■■■	機械・電気製図(1I)	熱工学
中村 憲介	■■■■■	制御情報工学実験・実習(3I)	電気工学
田邊 光夫	■■■■■	機械・電気製図(2I)	機械工作
鳴瀬 勝房	■■■■■	材料力学(4I)	材料力学

(出典：総務課資料)

資料 3 - 1 - ② - 5

物質工学科担当教員一覧

専任教員

氏名	職名	担当科目	専門分野
菅原 晃	教授	物質工学概論(1B), 物質工学演習(4B), 材料化学(5M), 物質化学実験(有機)(3B), 精密合成(5B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	有機硫黄化学
小谷 卓	教授	物質工学概論(1B), 分析化学(2B), 機器分析(4B), 物質化学実験(2B), 物質工学基礎研究(4B), 環境とエネルギー(5B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B), 環境科学(5年共通)	分析化学、環境化学、機器分析、廃棄物利用
栗野 幸雄	教授	物質工学概論(1B), 無機化学(3B, 4B), 物質工学ゼミ(4B), 物質化学実験(無機)(3B), 錯体・有機金属(5B), 無機材料化学(5B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	無機化学
飯島 政雄	教授	物質工学概論(1B), 工業化学特論Ⅱ(2B), 物理化学(3B), 機器分析(4B), 生物物理化学(5B), 生物学実験(4B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	応用化学
竹田 真敏	教授	物質工学概論(1B), 生物化学(4B), 物質工学ゼミ(4B), 物質化学実験(3B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	生化学、分子生物学
佐藤 貴哉	教授	物質工学概論(1B), 有機化学(4B), 機能性材料(5B), 物質化学実験(4B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	機能高分子化学、エネルギー貯蔵デバイス
清野 恵一	准教授	物質工学概論(1B), 化学工学(4B), 反応工学(4B), 計測制御(5B), 物質化学実験(4B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	化学工学、反応工学
瀬川 透	准教授	物質工学概論(1B), 有機化学(3B), 工業英語(4B), 有機電子論(5B), 物質化学実験(有機)(3B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	有機化学
戸嶋 茂郎	准教授	物質工学概論(1B), 基礎化学演習(1B), 工業英語(4B, 5B), 電気化学(4B), 有機化学演習, 工業化学特論Ⅰ(2B), 物質化学実験(4B), 材料工学実験(4B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	電気化学
佐藤 司	准教授	物質工学概論(1B), 物理化学(4B), 材料化学(4B), 有機材料化学(5B), 物質化学実験(無機)(3B), 材料工学実験(4B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	高分子化学
南 淳	助教	物質工学概論(1B), 基礎生物学(3B), 生物工学基礎(4B), 物質化学実験(3B), 生物工学実験(4B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B)	植物生理学、植物細胞工学、生化学、生物教育
阿部 達雄	助教	物質工学概論(1B), 創造実習(2B), 化学工学(3B), 環境とエネルギー(5B), 物質化学実験(2B), 物質工学基礎研究(4B), 卒業研究(5B), 外国語雑誌会(5B), エコロジー概論(5年共通)	環境化学、生態影響評価、水質学、天然物化学

資料3-1-②-5 続き

非常勤教員

氏名	所属	担当科目	専門分野
斉藤 攻悦		機械工学概論(5B)	熱工学
菊地 恒夫		電気工学概論(4B)	電力工学、電気法規
鈴木 徹		情報処理(1B), 計算機実習(4B), 情報処理演習(5B)	情報処理
阿部 利徳		分子生物学(4B)	分子生物学
貫名 学		バイオテクノロジー(5B)	生物有機化学
伏谷 眞二		薬学概論(4B, 5B)	薬草学
佐々木 實		物質工学特別講義(5B)	知的財産
小松 高行		物質工学特別講義(5B)	無機材料
米本 年邦		物質工学特別講義(5B)	化学工学
菅 和寛		物質工学特別講義(5B)	畜産学
吉田 敬一		物質工学特別講義(5B)	情報科学
小松 善伸		物質工学特別講義(5B)	無機化学
宮仕 勉		物質工学特別講義(5B)	有機化学
岡田 修司		物質工学特別講義(5B)	高分子材料
佐藤 瀏		物質工学特別講義(5B)	有機化学

(出典：総務課資料)

(分析結果とその根拠理由)

本校は、1学年4学級(1学科1学級)で構成され、専門科目担当教員として、専任41人、非常勤講師25人を配置し、高等専門学校設置基準を満たしている。専門科目は、本校の基本教育目標及び学習・教育目標に沿って、工業界の様々な分野で活躍できる教養豊かな実践的技術者を養成するために、各担当分野で高い専門性を有し、かつ専門分野で研究活動を行っている教員を4つの専門学科に適切に配置している。

観点3-1-③： 専攻科を設置している場合には、教育の目的を達成するために必要な専攻科の授業科目担当教員が適切に配置されているか。

(観点到る状況)

専攻科は、機械電気システム工学専攻及び物質工学専攻で構成されており、専攻科の学習・教育目標と具体的な到達目標を達成するために、両専攻に共通な一般科目・共通専門科目と専門科目の区分

ごとに必要な高度の専門性を有する教員を適切に配置している（資料 3-1-③-1～3）。

観点 3-1-③ 資料一覧

資料 3-1-③-1	一般科目・共通専門科目担当教員一覧	(出典：総務課資料)
資料 3-1-③-2	機械電気システム工学専攻担当教員一覧	(出典：総務課資料)
資料 3-1-③-3	物質工学専攻担当教員一覧	(出典：総務課資料)

資料 3-1-③-1

一般科目・共通専門担当教員一覧

専任教員

氏名	職名	担当科目	専門分野
山内 清	教授	経済学(1年)	経済理論
澤 祥	教授	環境地理学特論(1年)	自然地理学
佐藤 浩	教授	応用数学(1年)	代数学、離散数学、組合せ論、確率論
加田 謙一郎	准教授	日本学特論(1年)	国文学、国語コミュニケーションスキル教育
田辺 英一郎	准教授	総合実践英語 I・II(1年)	言語学、英語教育学
上松 和弘	准教授	応用解析(1年), データ解析(2年)	数学、応用数学、物理数学、金属属性
鈴木 建二	教授	物理学特論(2年)	固体物理学、物理教育
吉木 宏之	准教授	量子物理(2年)	プラズマ理工学、気体放電、原子核理論

非常勤教員

氏名	所属	担当科目	専門分野
加藤 紀元	██████████	特別講義(1年)	天然物化学
後藤 忠敏	██████████	特別講義(1年)	電気工学
牛山 泉	██████████	特別講義(1年)	流体力学
横山 孝男	██████████	特別講義(1年)	精密工学
鞠谷 雄士	██████████	特別講義(1年)	高分子化学
笠原 照明	██████████	特別講義(1年)	半導体工学
巖見 武裕	██████████	特別講義(1年)	ロボット工学

(出典：総務課資料)

資料3-1-③-2

機械電気システム工学専攻担当教員一覧

専任教員

氏名	職名	担当科目	専門分野
嶋屋 誠	教授	専攻科実験(1年)	材料力学
加藤 康志郎	教授	総合技術論(1年), トライボロジー(ME2), 専攻科研究(ME1, ME2)	トライボロジー、機械要素
白野 啓一	教授	専攻科実験(1年),	流体工学
後藤 誠	教授	専攻科実験(1年)	機械工作法(鋳造)
本橋 元	准教授	専攻科実験(1年), 応用機構学(ME1), 専攻科研究(ME1, ME2)	機械工学
竹村 学	准教授	システム計画学(1年), 専攻科実験(1年)	システム情報工学
五十嵐 幸徳	准教授	材料設計学(ME2)	材料工学、金属材料学
増山 知也	准教授	総合技術論(1年), 創造工学演習(ME1), 専攻科研究(ME1, ME2)	機械要素、設計工学、材料工学、破壊力学
矢吹 益久	助教	総合技術論(1年), 専攻科研究(ME1, ME2)	希薄気体工学、真空工学
佐藤 秀昭	教授	専攻科実験(1年)	電気応用、光応用科学
藤本 幸一	教授	専攻科実験(1年)	自動制御
江口 宇三郎	教授	経営工学(2年), 専攻科実験(1年), レーザー応用計測(ME1), 専攻科研究(ME1)	応用物理
佐藤 淳	准教授	総合技術論(1年), 集積回路設計(ME1), 計算機システム(ME1)	計算機工学
神田 和也	准教授	経営工学(2年), 光電子デバイス工学(ME2), 専攻科研究(ME1, ME2)	センサ工学、電子回路論、食品工学
保科 紳一郎	准教授	数値計算(1年), 専攻科実験(1年), 信号処理特論(ME2), 専攻科研究(ME2)	電気磁気学、電気計測
宝賀 剛	助教	専攻科実験(1年)	電気材料
丹 省一	教授	総合技術論(1年), 流体機械(ME1), エネルギーシステム工学(2年), 専攻科研究(ME1, ME2)	流体工学、流体機械
宮崎 孝雄	教授	総合技術論(1年), センサー工学(2年), 専攻科研究(ME2)	計測工学
大久保 準一郎	教授	シミュレーション工学(ME2), 専攻科実験(1年)	数値計算力学、ソフトウェア一般
佐藤 義重	教授	総合技術論(1年)	知能制御システム、システム制御
柳本 憲作	教授	音響工学特論(ME2), 音響工学(ME2), 専攻科研究(ME2)	音響工学、制御工学
渡邊 隆之	特任教授	総合技術論(1年), 技術者倫理(1年), シミュレーション工学(ME2), 専攻科研究(ME1, ME2)	構造工学
吉住 圭市	准教授	専攻科実験(1年)	情報科学、情報処理教育、Web技術、画像処理
安斎 弘樹	准教授	総合技術論(1年), 電磁気応用光学(ME2), 伝送システム工学(ME2), 専攻科研究(ME1, ME2)	環境電磁工学、計算電磁気学
渡部 誠二	准教授	実践電気電子工学(2年), 創造工学演習(ME1), 専攻科研究(ME1, ME2)	騒音制御
三村 泰成	准教授	総合技術論(1年), 応用コンピュータグラフィックス(2年), 設計工学(1年), 専攻科研究(ME1, ME2)	計算力学

資料3-1-③-2 続き

非常勤教員

氏名	所属	担当科目	専門分野
鳴瀬 勝房		材料力学特論(ME1), 塑性加工学(ME1)	材料力学

(出典: 総務課資料)

資料3-1-③-3

物質工学専攻担当教員一覧

専任教員

氏名	職名	担当科目	専門分野
菅原 晃	教授	安全工学(1年), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析化学(B1), 専攻科研究(ME1, ME2)	有機硫黄化学
小谷 卓	教授	環境化学(1年), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1), 専攻科研究(ME1)	分析化学、環境化学、機器分析、廃棄物利用
栗野 幸雄	教授	総合技術論(1年), 材料化学(1年), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1)	無機化学
飯島 政雄	教授	専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1), 専攻科研究(ME2)	応用化学
竹田 真敏	教授	生物機能材料(1年), 専攻科実験(1年), 工業分析科学(B1)	生化学、分子生物学
佐藤 貴哉	教授	経営工学(2年), 安全工学(1年), 高分子合成化学(B2), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1), 専攻科研究(ME1, ME2)	機能高分子化学、エネルギー貯蔵デバイス
清野 恵一	准教授	総合技術論(1年), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1)	化学工学、反応化学
瀬川 透	准教授	有機光化学(B1, B2), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1)	有機化学
戸嶋 茂郎	准教授	固体構造科学(B2), 応用電気化学(B2), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1), 専攻科研究(ME1)	電気化学
佐藤 司	准教授	高分子材料化学(B2), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1), 専攻科研究(ME1, ME2)	高分子化学
南 淳	助教	総合技術論(1年), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1)	植物生理学、植物細胞工学、生化学、生物教育
阿部 達雄	助教	総合技術論(1年), 専攻科実験(1年), 創造実習Ⅱ(B1), 工業分析科学(B1), 専攻科研究(ME1)	環境化学、生態影響評価、水質学、天然物化学

非常勤教員

氏名	所属	担当科目	専門分野
城戸 英郎		生物資源利用化学(B1)	天然物有機化学

(出典: 総務課資料)

(分析結果とその根拠理由)

専攻科は、機械電気システム工学専攻及び物質工学専攻の2専攻で構成されており、専攻科の学習・教育目標と具体的な到達目標を達成するために、両専攻に共通な一般科目・共通専門科目と専門科

目の区分ごとに必要な高度の専門性を有する教員を適切に配置している。

観点3-1-④： 学校の目的に応じて、教員組織の活動をより活発化するための適切な措置（例えば、均衡ある年齢構成への配慮、教育経歴や実務経歴への配慮等が考えられる。）が講じられているか。

（観点に係る状況）

国立高専機構の中期計画では、中期目標の期間中に、専門科目担当教員（理系の一般科目を含む。）については、博士の学位を持つ者や技術士等の職業上の高度の資格を持つ者が全体として70%以上とし、理系以外の一般科目担当教員については、修士以上の学位を持つ者や民間企業等における経験を通して高度な実務能力を持つ者など、優れた教育力を有する者が全体として80%以上となるように定められている。

本校の場合、教員の年齢構成については、各年代のバランスのとれた教員組織となるように配慮して、教員を選考、配置しており、教員組織活動は適切に行われている（資料3-1-④-1）。

教育経歴への配慮については、専門学科では68%、総合科学科理系では67%が博士の学位を有している。総合科学科文系では77%が修士あるいは博士の学位を有している（資料3-1-④-2）。また、技術士の教員は、現在在職していない。国立高専機構の中期目標には達していないが、本校では完成年度に向けて目標を達成できるように次のような措置を講じている。学位または技術士の未取得者に対しては、学生に対してより高度な教育を行うため、各学科内の協力を得ながら、資格を取得しやすい環境を整えている（資料3-1-④-3）。

また、専門学科の教員採用に際しても、原則として、博士の学位の取得を条件にし、また、技術士の資格についても配慮することとしている（資料3-1-④-4）。実務経歴については、国立高専機構の中期計画には達していないが、本校では、完成年度に向けて目標を達成できるよう教員採用に際しては、均衡の取れた実務経歴構成となるよう配慮することとしている（資料3-1-④-5）。

観点3-1-④ 資料一覧

資料3-1-④-1	専任教員の年齢構成一覧	（出典：総務課資料）
資料3-1-④-2	専任教員の学位取得状況	（出典：総務課資料）
資料3-1-④-3	平成10年度以降の学位取得者	（出典：総務課資料）
資料3-1-④-4	教員公募案内	（出典：ウェブページ）
資料3-1-④-5	専任教員の採用前の経歴一覧	（出典：総務課資料）

資料3-1-④-1

専任教員年齢構成一覽

平成19年4月4日現在

区 分	20~29		30~39		40~49		50~59		60~	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総合科学科文系			2		5	1	1	1	3	
総合科学科理系			2		2		3		2	
小 計			4		7	1	4	1	5	
機械工学科			3		2		2		3	
電気電子工学科			3		2		3			
制御情報工学科			1		5		3		2	
物質工学科			2		4		3		3	
小 計			9		13		11		8	
合 計			13		20	1	15	1	13	

(出典：総務課資料)

資料3-1-④-2

専任教員の学位取得状況

平成19年4月3日現在

区 分	博 士		修 士		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%
総合科学科文系	2	15.38	8	61.54	3	23.08
総合科学科理系	6	66.67	2	22.22	1	11.11
専門4学科	28	68.29	7	17.07	6	14.64
合 計	36	57.14	17	26.99	10	15.87

(出典：総務課資料)

資料3-1-④-3

平成10年度以降の学位(博士)取得者

平成19年4月3日現在

学位取得年月日	所属及び職名	氏名	学位の内容
平成11年2月25日	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	博士(工学)
平成11年3月25日	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	博士(工学)
平成12年3月23日	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	博士(理学)
平成13年2月22日	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	博士(経済学)
平成13年7月19日	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	博士(理学)
平成18年3月23日	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	博士(工学)

(出典：総務課資料)

資料3-1-④-4

教員公募案内

(工業高専における教育歴のある方募集する例)

独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校 教員公募案内

1. 募集人員 : 教授 1 名
2. 所属学科 : 電気電子工学科
3. 専門分野 : 制御工学および電力工学に関する分野
4. 担当科目 : 専門分野の科目ならびに電気回路、電気磁気学等の基礎科目および実験・実習 (予定)
5. 応募資格 : (1) 博士の学位を有する方、または同等の研究歴がある方
(2) 高専の教育・研究・学生指導に熱意を有し、工業高専における教育歴のある方
(3) 年齢 55～60 歳程度 (着任時) の方
6. 提出書類 : (1) 履歴書 (市販のものまたは同一書式に本人の自筆とする。写真貼付)
(2) 研究業績一覧 (研究論文、著書、学会口頭発表など)
(3) 主要論文の別刷 3 編程度 (コピー可、業績リストに○印を付すこと)
(4) これまでの主な研究歴 (企業における研究概要を含む)
(A 4 版 2 枚以内)
(5) 「高専における研究・教育」に対する抱負について記したもの
(A 4 版 1 枚 1,000 字程度)
(6) 応募者について照会可能な方 2 名の所属、氏名及び連絡先

(技術士の資格を有している方募集する例)

独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校 教員公募案内

1. 募集人員 : 教授 1 名
2. 所属学科 : 機械工学科
3. 担当分野 : 工作法、加工学に関する講義及び実験、実習、設計製図
4. 応募資格 : (1) 機械系の学科を専攻し、博士の学位を有する方
(2) 高専での教育・研究及び学生指導に熱意のある方
(3) 着任時に年齢 50 歳から 55 歳程度の方
(4) 技術士の資格を有することが望ましい
5. 着任時期 : 平成 20 年 4 月 1 日
6. 提出書類 : (1) 履歴書 (市販のものあるいは同一書式でワープロ可。写真貼付、自身の連絡先には TEL/FAX 番号及びメールアドレスを記入のこと。)
(2) 研究業績一覧 (研究論文、著書、学会口頭発表、外部資金獲得状況など)
(3) 主要論文の別刷 3 編程度 (コピー可、業績一覧に○印を付すこと。)
(4) これまでの主な研究歴、研究内容 (企業における研究概要を含む)
(A 4 版 2 枚以内)
(5) 着任後の教育・研究に対する抱負 (A 4 版 1 枚程度、1,000 字程度)
(6) 応募者について照会可能な方 2 名の氏名及び連絡先
* 応募書類は、原則として返却いたしません。
7. 応募締切日 : 平成 19 年 10 月 31 日 (水) 必着
8. 選考方法 : (1) 書類審査
(2) 書類審査合格者の面接

(出典 : ウェブページ)

資料 3 - 1 - ④ - 5

専任教員の採用前の経歴一覧

平成19年4月3日現在

区 分	人数	全体に占める割合(%)
民間企業勤務	14	22.2%
大学または研究機関勤務	6	9.5%
他の高等専門学校勤務	1	1.6%
高等学校等勤務	9	14.3%
学生・その他	33	52.4%
合 計	63	100.0%

(出典：総務課資料)

(分析結果とその根拠理由)

本校の教員採用に当たっては、年齢構成、教育経歴、実務経験も配慮してきた。その結果、専門学科では68%が博士、総合科学科理系では67%が博士、総合科学科文系では77%が修士あるいは博士の学位を有している。

国立高専機構の中期目標には達していないが、本校では完成年度に向けて目標を達成できるように次のような措置を講じている。学位未取得者に対しては、学位を取得しやすい環境を整えて支援を行っており、専門学科の教員採用に際しても、原則として、博士の学位の取得を条件にしている。

技術士の資格を有する教員を拡充するため、教員公募案内に明記し、積極的に採用することとしている。実務経験についても、教員採用時に際して、均衡の取れた教員構成となるよう配慮している。

観点 3 - 2 - ①： 教員の採用や昇格等に関する規定などが明確かつ適切に定められ、適切に運用がなされているか。

(観点に係る状況)

本校の教員の採用については、「鶴岡工業高等専門学校教員選考規程」(以下「教員選考規程」という。)に基づき、原則として、公募により選考している(資料 3 - 2 - ① - 1, 資料 3 - 1 - ④ - 4 参照)。

教員の採用に際しては、校長、教務主事、当該学科長等を構成員とする教員選考委員会を設置の上、「鶴岡工業高等専門学校教員選考基準」(以下「教員選考基準」という。)に基づき、書類審査を行い、その報告を受け、面接を実施した上で最終候補者を決定している(資料 3 - 2 - ① - 2 ~ 3)。

教員の昇任については、教員選考基準に基づき選考している(資料 3 - 2 - ① - 4)。

非常勤講師の採用については、「鶴岡工業高等専門学校非常勤講師採用に関する申し合わせ」(以下「非常勤講師採用に関する申し合わせ」という。)に基づいて、各学科長からの非常勤講師採用計画とともに非常勤講師選考調書を学生課に提出し、その選考調書を基に、校長及び教務主事で採用計画を策定し、教務委員会で資格審査を行った上で採用候補者を決定している(資料 3 - 2 - ① - 5)。また、非常勤講師の退職に関しては、原則として、非常勤講師採用に関する申し合わせに基づき、満 67 才に達した者は、その達した日の属する年度の末日までとしている(資料 3 - 2 - ① - 6)。

観点 3-2-① 資料一覧

資料 3-2-①-1	教員選考規程	(出典：規程集)
資料 3-2-①-2	教員選考基準	(出典：総務課資料)
資料 3-2-①-3	教員選考委員会設置の例	(出典：メール)
資料 3-2-①-4	教員昇任の例	(出典：総務課資料)
資料 3-2-①-5	非常勤講師採用に関する申し合わせ	(出典：運営委員会資料)
資料 3-2-①-6	非常勤講師退職者一覧	(出典：総務課資料)

資料 3-2-①-1

鶴岡工業高等専門学校教員選考規程（抜粋）

(総則)

第1条 鶴岡工業高等専門学校の教員人事については、法令その他別段の定めがあるもののほかこの規程の定めるところによる。

(必要要件の決定)

第2条 校長は、教員に欠員が生じた場合には欠員の属する学科長等と協議して当該欠員の職名、専門分野等の要件を決定するものとする。

2 校長は、教員候補者の選考に当たり広く人材を求めるため原則として公募を行うものとする。

(公募手続)

第3条 当該学科長等及び総務課人事係長は校長の命により、公募手続を共同して行うものとする。

(教員選考委員会)

第4条 校長は、当該候補者を選考するための教員選考委員会（以下「委員会」という。）をその都度設置するものとする。

2 委員会は書類審査に基づき、面接候補者若干名を選考するものとする。

3 委員会は次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 校長
- 二 教務主事
- 三 当該学科長
- 四 事務部長
- 五 校長が指名する教授若干名

4 委員会に委員長を置き、校長が委員のうちから指名する。

5 委員長は、書類審査の結果を原則として別紙様式1により校長に報告するものとする。

6 委員会は、最終候補者が決定された時点で解散するものとする。

(最終候補者の決定)

第5条 校長は、委員長の報告を受け面接を実施した上で最終候補者を決定するものとする。

2 校長は、面接を実施するに当たり当該学科長等及び委員長並びに委員のうちから若干名を面接に加えるものとする。

3 校長は、最終候補者の決定に際し、総務課長及び総務課人事係長と共同して別紙様式2を取りまとめるものとする。

(出典：規程集)

資料 3 - 2 - ① - 2

鶴岡工業高等専門学校教員選考基準（抜粋）

不開示情報

資料3-2-①-2 続き

鶴岡工業高等専門学校教員選考基準（抜粋）

不開示情報

（出典：総務課資料）

資料3-2-①-3

教員選考委員会設置の例

Date: Fri, 13 Apr 2007 12:13:26 +0900

Subject: 教員選考委員会設置のお知らせ

平成19年4月13日

教職員各位

■■■■ 学科教員選考委員会の設置について

下記の構成員により、■■■■ 学科教員選考委員会を設置しましたので、お知らせ致します。

記

■■■■ 学科教員選考委員会構成員

- (1) 校長
- (2) 教務主事
- (3) ■■■■ 学科長
- (4) 事務部長
- (5) ■■■■ 教授、■■■■ 教授

横山 正明

997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田104

国立鶴岡工業高等専門学校

Tel/Fax:0235-25-9003

Fax:0235-24-1840

E-mail:president@tsuruoka-nct.ac.jp

（出典：メール）

資料3-2-①-4

教員昇任の例

別紙様式1

平成19年2月1日

校長 殿

選考委員会委員長

教員選考について

このことについて、下記のとおり書類審査の結果を報告します。

記

任用予定職	学科教授	面接候補者氏名	
書類審査の概要			
<p>平成19年1月31日、学科教授選考委員会を開催し、上記候補者の提出した履歴書、教育・指導実績書、校務実績書、地域連携協力実績書、研究歴および研究実績一覧、高専における研究・教育に対する抱負等を精査した結果、当人の長年の本校教員経験による正課及び正課外の教育指導を含む実績、業績、意欲、理念等は相応する在籍教員組織集団の平均以上と判断され、かつ直近5年間の研究論文は、本校教員選考基準第3条六項を満たすものと判断された。</p>			

(出典：総務課資料)

資料3-2-①-5

非常勤講師採用に関する申し合わせ

不開示情報

(出典：運営委員会資料)

資料3-2-①-6

非常勤講師退職者一覧

平成15年度限り退職

■■■■■	機械	■■■■■	平成16年3月31日退職
■■■■■	物質	■■■■■	平成16年3月31日退職
■■■■■	社会	■■■■■	平成16年3月31日退職
■■■■■	数学	■■■■■	平成16年3月31日退職
■■■■■	化学	■■■■■	平成16年3月31日退職
■■■■■	国語	■■■■■	平成16年3月31日退職

平成16年度限り退職

■■■■■	機械	■■■■■	平成16年9月30日退職
■■■■■	電気	■■■■■	平成17年3月31日退職
■■■■■	数学	■■■■■	平成17年3月31日退職

平成17年度限り退職

■■■■■	英語	■■■■■	平成17年9月30日退職
-------	----	-------	--------------

(出典：総務課資料)

(分析結果とその根拠理由)

教員の採用については、教員選考規程に基づき採用候補者の公募を行った上で、面接を実施し、最終候補者を決定している。また、昇任についても教育研究業績等を勘考して、教員選考基準に基づいた昇任が実施されている。

また、非常勤講師の採用については、非常勤講師採用に関する申し合わせに基づき決定している。

観点3-2-②： 教員の教育活動に関する定期的な評価を適切に実施するための体制が整備され、実際に評価が行われているか。また、その結果把握された事項に対して適切な取組がなされているか。

(観点到に係る状況)

「国立高等専門学校機構教員顕彰に係る教員の自己評価及び相互評価の実施」に基づき、教員の自己評価及び相互評価を行っており、校長のコメントと共に結果が通達されている(資料3-2-②-1~2)。

また、学生による授業評価については、教育改善委員会が中心になって、学年末に非常勤講師を含む全教員に対する「学生による授業アンケート調査」を実施し、その結果を個々の教員自身が把握して授業の改善に役立てている(資料3-2-②-3~4)。

観点 3-2-② 資料一覧

資料 3-2-②-1	国立高等専門学校機構教員顕彰	(出典：総務課資料)
資料 3-2-②-2	校長からの評価	(出典：総務課資料)
資料 3-2-②-3	授業アンケート調査	(出典：学生課資料)
資料 3-2-②-4	授業アンケート調査結果	(出典：学生課資料)

資料 3-2-②-1

国立高等専門学校機構教員顕彰

平成 18 年 10 月 10 日

教 員 各 位

校 長

平成 18 年度国立高等専門学校機構教員顕彰に係る
教員の自己評価及び相互評価の実施について（通知）

標記のことについて、昨年度同様、今年度も国立高等専門学校機構による教員顕彰が別添の「平成 18 年度国立高等専門学校教員顕彰実施要項」に基づき実施されることになりました。

ついては、各教員は、別添の「2. 教員の教育業績等評価」を参照の上、「評価集計表」に必要事項を全て記入（黒ペン使用）し、10月25日（木）までに庶務課人事係長へ封書にて提出してください。

なお、「評価集計表」の下端の「第2部（教員による相互評価）」を匿名として提出したい場合は、キリトリセンから切り離し、適宜小封筒に密封（提出者名は無記名とする）し、提出してください。教務主事及び人事係長立ち会いの下で開封・集計を行います。

また、教員の自己評価、相互評価に加え、学生（第3学年～第5学年）による教員の評価も実施します。別途クラス担任の先生方へ依頼しますので、併せて御協力方お願いします。

さらに、「自己申請書（様式2）」は、推薦候補者を選出後、当該者へ記入を依頼します。

本件については、顕彰の趣旨を踏まえ、昨年度同様、全教員からの提出を強く要請します。提出期限厳守の上、提出方お願いします。

追って、本校の「平成 17 年度教員の教育業績等評価実績資料」を添付しますので、ご自身の自己評価の参考としてください。

(添付資料)

- ・ 平成 18 年度実施要項
- ・ 教員の教育業績等評価の趣旨
- ・ 評価集計表
- ・ 選考の視点・採点方法
- ・ 選考の流れ（平成 18 年度）
- ・ 平成 17 年度教員の教育業績等評価実績資料

(出典：総務課資料)

資料3-2-②-2

校長からの評価

 先生

校 長

平成17年度教員顕彰候補者推薦結果について

標記についての選考経過を下記によりお知らせします。基本的には例年どおりですが、今年度は配点が少し変わったことを考慮しました。

推薦ランク	選考基準	人数	貴職ランク
非候補	下記以外の教員	41	
第1次候補	自己採点、教員相互評価および学生評価のうち、いずれか1つ以上において上位の教員	26	○
第2次候補	自己採点、教員相互評価および学生評価のうち、いずれか2つ以上において上位の教員	11	
第3次候補	自己採点、教員相互評価および学生評価の所定計算式による総合点が3位内の教員	3	
最終候補	教員顕彰申請書（様式1）、自己申請書（様式2）、人事係資料、校長資料および面談などにより、受賞確立が最高とされる教員	1	

(出典：総務課資料)

平成18年度 授業アンケート

以下の項目(1)～(3)に学科・学年および科目コードを指示に従って選択してください。

- (1) 学科を選択してください。
 1: 機械工学科 2: 電気/電気電子工学科 3: 制御情報工学科
 4: 物質工学科 5: 機械電気システム工学専攻 6: 物質工学専攻
- (2) 学年を選択してください。
 1: 1年 2: 2年 3: 3年 4: 4年 5: 5年
- (3) 科目コード番号を選んでください。(各項目、1つずつマーク)

		番号									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	最上位の桁	<input type="radio"/>									
2	中間の桁	<input type="radio"/>									
3	最下位の桁	<input type="radio"/>									

以下の項目(4)～(15)について注意事項にしたがって回答してください。

- (4) 予習・復習など自分でどの程度この授業について勉強したと思いますか？
 1: 全くしなかった 2: ほとんどしなかった 3: 一応勉強した
 4: かなり勉強した 5: とても良く勉強した
- (5) オフィスアワーを有効に活用しましたか？
 1: ほとんど活用しなかった 2: あまり活用しなかった 3: 時々、活用した
 4: 活用した 5: 大いに活用した
- (6) この授業を受講している学生全体の態度はどうでしたか？
 1: 全く良くなかった 2: あまり良くなかった 3: 普通
 4: 良かった 5: とても良かった
- (7) シラバスで示された「授業の概要」を有効に活用しましたか？
 1: ほとんど活用しなかった 2: あまり活用しなかった 3: 時々、活用した 4: 活用した 5: 大いに活用した
- (8) シラバスで示された「評価方法と基準」を有効に活用しましたか？
 1: ほとんど活用しなかった 2: あまり活用しなかった 3: 時々、活用した 4: 活用した 5: 大いに活用した
- (9) シラバスで示された「教科書、参考書等」を有効に活用しましたか？
 1: ほとんど活用しなかった 2: あまり活用しなかった 3: 時々、活用した 4: 活用した 5: 大いに活用した
- (10) 授業の「内容」はシラバスどおりだと思いますか？
 1: ほとんどシラバスどおりではなかった 2: あまりシラバスどおりではなかった 3: どちらかといえばシラバスどおりであった
 4: 大体シラバスどおりであった 5: ほぼシラバスどおりであった

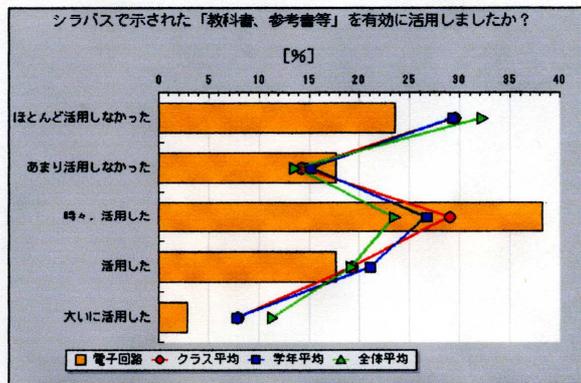
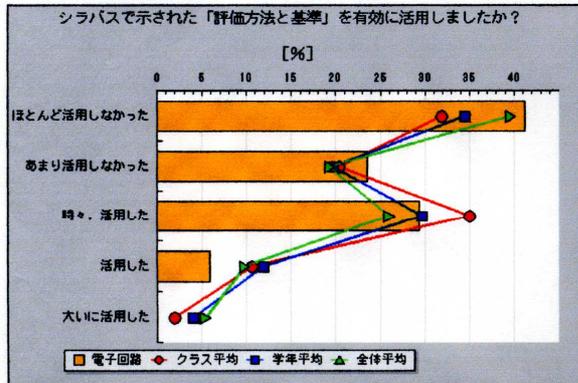
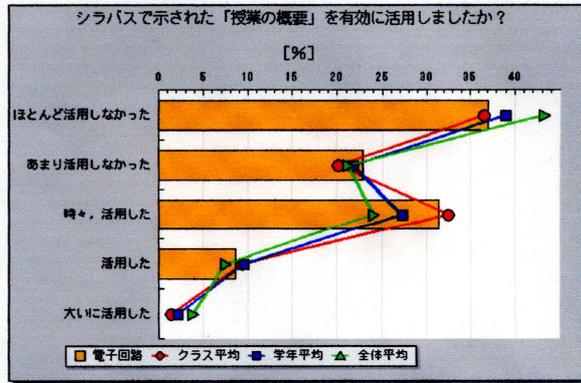
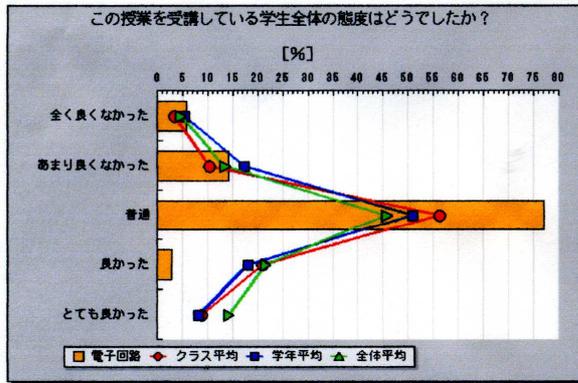
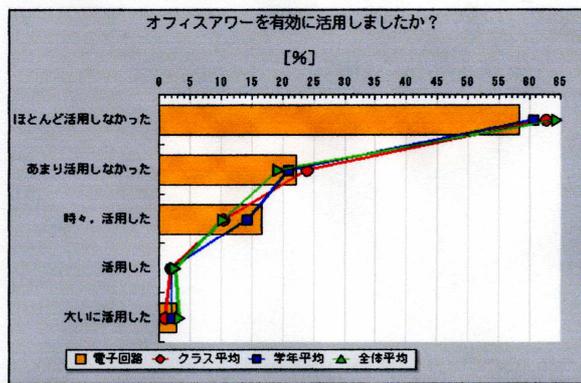
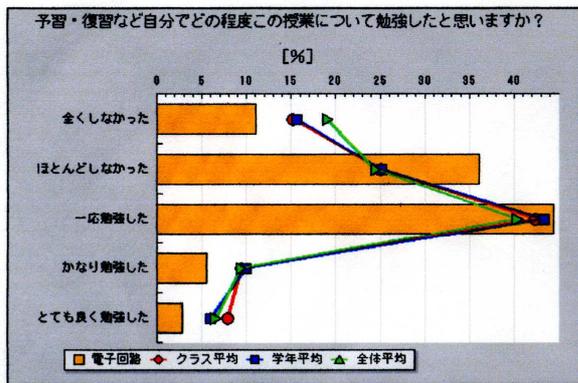


- (11) 授業中の声について
 1: 聞きにくい 2: やや聞きにくい 3: 普通
 4: 概ね聞き易い 5: 聞き易い
- (12) 黒板やOHP等の文字について
 1: 見にくい 2: やや見にくい 3: 普通 4: 概ね見易い 5: 見易い
- (13) 説明の仕方について
 1: 理解しにくい 2: やや理解しにくい 3: 普通
 4: 概ね理解しやすい 5: 理解し易い
- (14) この授業全体に対する理解度をパーセントで表すとどのくらいですか？
 1: 20%未満しか理解できなかった 2: 20~40%しか理解できなかった 3: 40~60%理解できた
 4: 60~80%理解できた 5: 80%以上理解できた
- (15) この授業全体に対する印象について
 1: 全く知的興味をもてなかった 2: あまり知的興味をもてなかった 3: どちらともいえない
 4: 知的興味をもてた 5: とても知的興味をもてた
- (16) 質問(15)「授業全体に対する印象」について(1)~(3)を選んだ人への質問
 知的興味を持てなかった理由を以下の中から選んでください。(複数回答可)
 1: 新鮮味を感じなかった 2: 自分の学力よりレベルが低すぎた 3: 自分の学力よりレベルが高すぎた
 4: 自分にとって有意義とは思えなかった 5: その他(質問(18)に具体的に書いて下さい)
- (17) 質問(15)「授業全体に対する印象」について(4),(5)を選んだ人への質問
 知的興味を持てた理由を以下の中から選んで下さい。(複数回答可)
 1: 新鮮味を感じた 2: 授業中の質疑応答が活発だった 3: 自分の学力に合っていた
 4: 自分にとって非常に有意義であった 5: その他(質問(18)に具体的に書いて下さい)
- (18) その他、授業に対する要望や提案などがあれば以下の枠内に自由に記入して下さい。



授業アンケート結果

私自身最も力を入れてきた授業に対し、総合的に判断し、平均値を下回る評価がなされ、低かった項目に対し授業改善を行います。また、授業の進捗度、内容の難易度の適切さ、新鮮味および学生からの質問への対応について評価が低く、今後の授業において、理解度と進度・難易度等に配慮し進めたいと思います。さらに、オフィスアワー等を有効に使い、学生の質問には懇切丁寧に応え、学生が満足できる授業を目指します。



(出典：学生課資料)

(分析結果とその根拠理由)

「国立高等専門学校機構教員顕彰に係る教員の自己評価及び相互評価の実施」に基づき、教員の自己評価及び相互評価を行っており、校長のコメントと共に結果が通達されている。

また、教育改善委員会が中心になって実施している「学生による授業アンケート調査」により、個々の教員が教育に関する評価を把握して授業の改善に役立てている。

観点3-3-①： 学校において編成された教育課程を展開するに必要な事務職員、技術職員等の教育支援者が適切に配置されているか。

(観点到に係る状況)

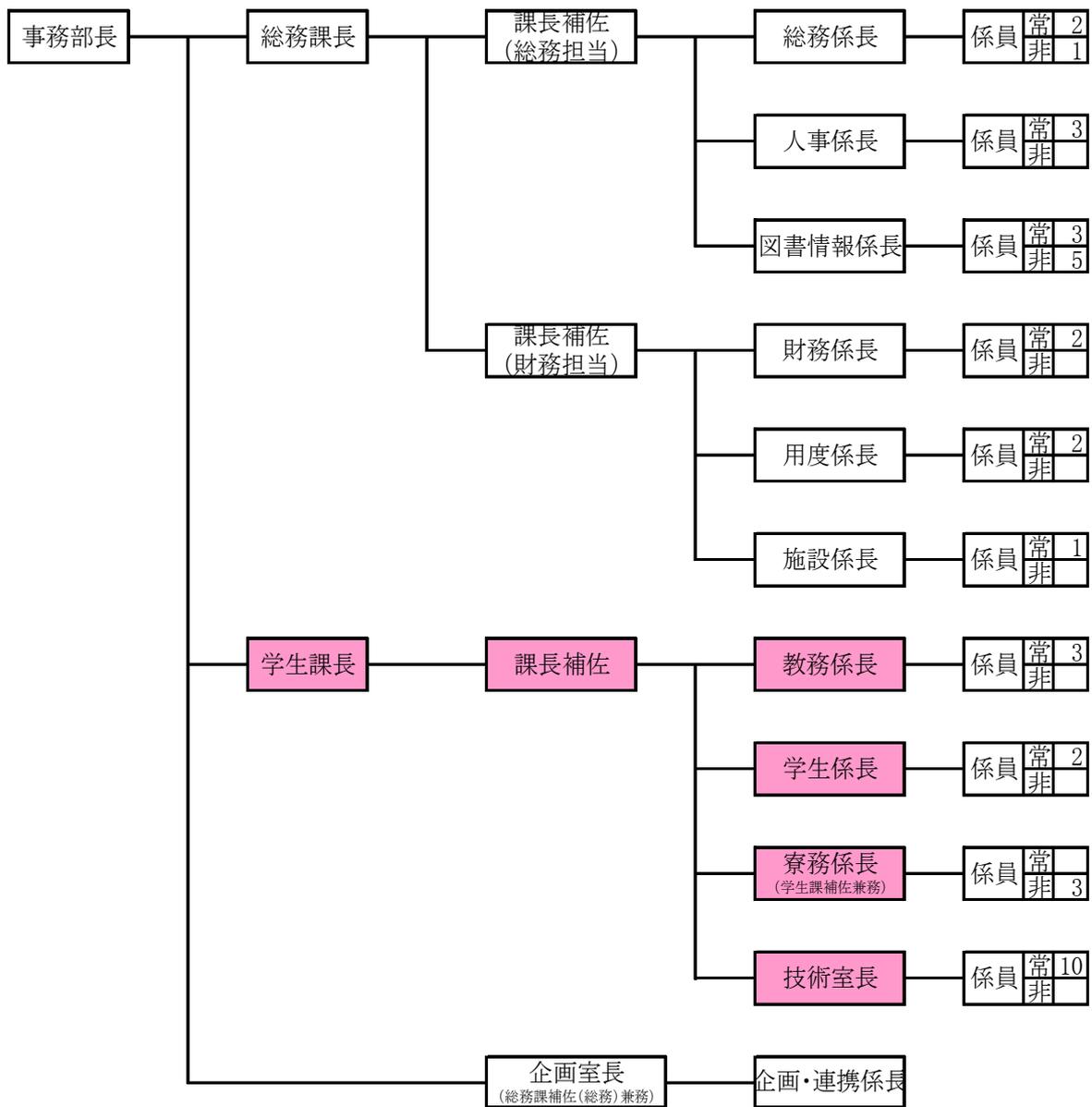
本校の事務職員、技術職員等は、事務職員配置状況の通り配置されている(資料3-3-①-1)。教育支援は、主として学生課3係(教務係、学生係、寮務係)と技術室(第1班～3班)で行っている。教務係は、授業時間割の編成、授業及び試験に関すること、学生の校外実習等に関すること、学生係は、学生の課外活動、学生の育英奨学、学生の就職指導や福利厚生に関すること、寮務係は、学生寮の管理運営、寮生の福利厚生等の支援業務を行っている。また、技術職員は、教育研究支援のための技術開発及び技術業務に関すること、学生の実験及び実習の技術指導に関すること、実験・実習施設における機械器具等の保全管理等の教育支援を行っており、必要な人材と人員が配置されている(資料3-3-①-2～3)。

観点3-3-① 資料一覧

資料3-3-①-1	事務職員配置状況	(出典：総務課資料)
資料3-3-①-2	事務組織規程	(出典：規程集)
資料3-3-①-3	平成19年度技術室職員教育支援科目	(出典：学生課資料)

資料 3 - 3 - ① - 1

鶴岡工業高等専門学校事務職員配置状況(平成19年5月1日現在)



(出典：総務課資料)

鶴岡工業高等専門学校事務組織規程（抜粋）

第1章 総則

（目的）

第1条 この規程は、独立行政法人国立高等専門学校機構の組織に関する規則第5条、独立行政法人国立高等専門学校機構の本部事務局の組織等に関する規則第9条及び鶴岡工業高等専門学校学則第11条の規定に基づき、鶴岡工業高等専門学校（以下「本校」という）の組織及び事務分掌について必要な事項を定めることを目的とする。

（学生課）

第13条 学生課に、教務係、学生係、寮務係及び技術室を置く。

2 学生課に、学生課の所掌する事務を係の分掌を超えて共同で処理するため、係員で組織する学生課グループを置くことができる。

3 学生課グループは、上司の命を受け、共同で処理することが適当とする分野の事務を処理する。

4 学生課グループの構成及び事務の内容は別に定める。

5 教務係においては、次の事務をつかさどる。

- 一 学生課の事務に関し、総括し、連絡調整すること。
- 二 学生厚生補導関係経費等の予算要求に関すること。
- 三 入学者の選抜に関すること。
- 四 入試システムの利用に関すること。
- 五 教育課程の編成に関すること。
- 六 教育方法に関すること。
- 七 授業及び試験に関すること。
- 八 学生の成績及び出欠席に関すること。
- 九 学生指導要録その他学生の諸記録の整理保管に関すること。
- 十 入学、退学、休学、復学、除籍及び卒業（修了）に関すること。
- 十一 進級及び卒業（修了）の認定に関すること。
- 十二 学生の身分、成績及び卒業（修了）等の証明に関すること。
- 十三 指導要録に記録を要する諸届に関すること。
- 十四 教科書及び教材に関すること。
- 十五 学生の校外実習及び見学等に関すること。
- 十六 J A B E E に関すること。
- 十七 外国人留学生に関すること。
- 十八 所掌事務に関する調査統計その他諸報告に関すること。
- 十九 その他教務に関すること。

6 学生係においては、次の事務をつかさどる。

- 一 学生の課外教育に関すること。
- 二 学生会その他学生団体に関すること。
- 三 奨学金及び入学金・授業料の減免、徴収猶予に関すること。
- 四 学生の厚生施設及び厚生事業に関すること。
- 五 学生の健康管理及び安全保持に関すること。
- 六 学生の相談に関すること。
- 七 学生の就職指導及び斡旋に関すること。
- 八 学生旅客運賃割引証及び通学証明書の発行に関すること。
- 九 学生のアルバイトに関すること。
- 十 独立行政法人日本スポーツ振興センターに係る共済給付契約及び給付金の支払請求に関すること。
- 十一 学生の表彰及び懲戒に関すること。
- 十二 所掌事務に関する調査統計その他諸報告に関すること。
- 十三 その他学生の厚生補導に関すること。

7 寮務係においては、次の事務をつかさどる。

資料 3 - 3 - ① - 2 続き

- 一 学生寮の管理運営に関すること。
 - 二 入寮及び退寮に関すること。
 - 三 寮生の保健衛生及び栄養管理に関すること。
 - 四 寮生の給食等に関すること。
 - 五 所掌事務に関する調査統計その他諸報告に関すること。
 - 六 その他寮生の厚生補導に関すること。
- 8 技術室においては、次の事務をつかさどる。
- 一 教育研究支援のための技術開発及び技術業務に関すること。
 - 二 学生の実験及び実習の技術指導に関すること。
 - 三 技術の継承及び保存に関すること。
 - 四 技術研修等の企画及び連絡調整に関すること。
 - 五 実験・実習施設における機械器具等の保安全管理に関すること。
 - 六 実習工場における危害防止に関すること。
 - 七 実験研究等の装置を製作すること。
 - 八 その他技術室の事務に関すること。

(出典：規程集)

資料3-3-①-3

平成19年度 技術室職員教育支援科目

(第1班)

氏名	学科名等	授業科目	学年及び年間支援時限数					合計
			1	2	3	4	5	
成田 慎一 (技術室長) (班長)	機械工学科	機械工学実習	45		60			705
		機械工学実験				90	90	
		卒業研究					420	
	制御情報工学科	制御情報工学実験・実習		60	90		90	630
		創造実習		30				
		卒業研究					360	
専攻科	専攻科実験	90		-	-	-	90	
横田 礼 (班員)	機械工学科	機械工学実習		45	60			705
		機械工学実験				90	90	
		卒業研究					420	
	制御情報工学科	制御情報工学実験・実習		60	90			540
		創造実習		30				
		卒業研究					360	
佐藤 大輔 (班員)	機械工学科	機械工学実習	45	45	60			690
		創造実習		30				
		機械工学実験				90		
		卒業研究					420	
	制御情報工学科	制御情報工学実験・実習		60	90	90		630
		創造実習		30				
卒業研究						360		
専攻科	専攻科実験	45		-	-	-	45	
木村 英人 (班員)	機械工学科	機械工学実習	45	45	60			750
		機械工学実験				90	90	
		卒業研究					420	
	制御情報工学科	制御情報工学実験・実習		60	90			540
		創造実習		30				
		卒業研究					360	
専攻科	専攻科実験	45		-	-	-	45	
池田 孝一 (班員)	機械工学科	機械工学実習	45	45	60			750
		機械工学実験				90	90	
		卒業研究					420	
	制御情報工学科	創造実習	30	30				600
		制御情報工学実験・実習			90		90	
		卒業研究				360		

資料3-3-①-3 続き

(第2班)

氏名	学科名等	授業科目	学年及び年間支援時限数					合計
			1	2	3	4	5	
石田 克敏 (班長)	電気電子工学科	基礎コンピュータ演習	30					615
		創造実習	30					
		電気電子工学実験・実習		90	90			
		電気工学実験・実習				135	90	
		卒業研究					150	
鈴木 大介 (班員)	電気電子工学科	創造実習	30					615
		電気電子工学実験・実習		90	90			
		電気工学実験・実習				135	90	
		信号処理					30	
		卒業研究					150	
一条 洋和 (班員)	電気電子工学科	創造実習	30					585
		電気電子工学実験・実習		90	90			
		電気工学実験・実習				135	90	
		卒業研究					150	

(第3班)

氏名	学科名等	授業科目	学年及び年間支援時限数					合計
			1	2	3	4	5	
八幡 喜代志 (班長)	物質工学科	物質工学概論	30					465
		物質化学実験		90		90		
		物質工学基礎研究				45		
		材料工学・生物工学実験				45		
		卒業研究					165	
矢作 友弘 (班員)	物質工学科	物質工学概論	30					360
		物質化学実験			150			
		物質工学基礎研究				45		
		卒業研究					135	
長 俊広 (班員)	物質工学科	物質工学概論	30					495
		物質化学実験			150	90		
		物質工学基礎研究				45		
		材料工学・生物工学実験				45		
		卒業研究					135	

(出典：学生課資料)

(分析結果とその根拠理由)

事務職員の教育支援については、主として学生課で行っている。また、技術職員は技術室として組織化されており、専門分野の異なる各学科での十分な教育支援ができるよう、必要な人材と人員が配置されている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

教員構成は、年齢構成、教育経歴、実務経験が配慮されており、国立高専機構の中期目標には達していないが、本校では完成年度に向けて目標を達成できるように次のような措置を講じている。学位未取得者に対しては、学位を取得しやすい環境を整えて支援を行っており、専門学科の教員採用に際しても、原則として、博士の学位の取得を条件にしている。

また、技術職員は、技術室として組織化され、全学科への教育支援ができる体制がとられている。

(改善を要する点)

特になし

(3) 基準3の自己評価の概要

本校は、1学年4学級(1学科1学級)の入学定員が160人で、一般科目担当教員として、専任22人、非常勤講師17人を配置している。また、専門科目担当教員としては、専任が41人、非常勤講師25人を配置し、高等専門学校設置基準を満たしており、本校の学習・教育目標を達成するために、必要な授業科目を担当する教員を適切に配置している。専攻科では、専攻科の学習・教育目標と具体的な到達目標を達成するために、必要な授業科目を担当する高度の専門性を有する教員を適切に配置している。

教員構成は、年齢構成、教育経歴、実務経験に配慮しており、国立高専機構の中期目標には達していないが、本校では完成年度に向けて目標を達成できるように次のような措置を講じている。学位未取得者に対しては、学位を取得しやすい環境を整えている。また、教員の採用に当たっては、教員選考規程に基づき採用候補者の公募を行った上で、面接を実施し、最終候補者を決定している。また、昇任については、教育研究業績等を勘考して、教員選考基準に基づいた昇任が実施されている。

教員の教育活動の評価については、「国立高等専門学校機構教員顕彰に係る教員の自己評価及び相互評価の実施」に基づき、教員の自己評価及び相互評価を行っており、校長のコメントと共に結果が通達されている。

また、教育改善委員会が中心になって実施している「学生による授業アンケート調査」により、個々の教員が教育に関する評価を把握して授業の改善に役立てている。

事務職員の教育支援については、主として学生課で行っている。技術職員は、技術室として組織化されており、専門分野の異なる各学科での十分な教育支援ができるよう、必要な人材と人員を配置している。